

# コンプライアンスへの取り組み

ニチレイグループは、行動規範に反してまで得た業績は一切評価しないことをグループの企業経営理念として掲げ、不正や反社会的な企業行動を禁じています。法令・定款を遵守し、社会の公器として公正な競争に徹したうえで健全な利益の増大を追求します。

## ● 企業倫理の遵守とリスク管理体制の強化

ニチレイグループは、リスク情報の収集とリスク・不正の未然防止、そして働きやすく、風通しのよい職場環境づくりを目指して、企業倫理に違反する行為に対する従業員などからの通報や相談に応じる仕組みづくりを進めています。また、ニチレイ

グループ全体に関わるリスクの未然防止並びに発生時の対応については、リスクマネジメント委員会で決定しています。2003年度は、「内部通報制度(ニチレイ・ホットライン)」を導入したほか、経営トップによるコンプライアンス巡回などを実施しました。

## ● 「行動規範」と「行動規範事例集」の配布

ニチレイグループでは、1999年に経営理念や行動基準・ガイドラインを記した「行動規範」と「行動規範事例集」を作成し、全従業員に配布しています。

この「行動規範事例集」は、日常活動において実際に起こりうる出来事を想定し、法令と定款を遵守することはもちろん、不正や反社会的な企業行動を取らないよう、具体的に対策や指針を明示したもので、従業員の自覚と責任ある行動を促すツールとして活用しています。

ニチレイグループの行動規範

1. 法令および社内規定・ルールの遵守
2. 会社財産の有効活用と公私混同の禁止
3. 社会貢献に関する行動
4. 事業活動に関する基本的な姿勢
5. 個人の立場と社員の立場の利害調整
6. 社内および関係会社との交際



行動規範事例集

## ● 経営トップによるコンプライアンス巡回

法令遵守の強化・徹底と内部通報制度の理解・浸透を図るため、2003年10月～12月の3カ月にわたり、代表取締役会長がニチレイグループ全事業所を回り、各事業所での説明会を開催しました。ニチレイグループの目指す方向性やそれを実現していく過程で起こりうる、さまざまなコンプライアンス上の問題点について、社員に直接語りかけました。

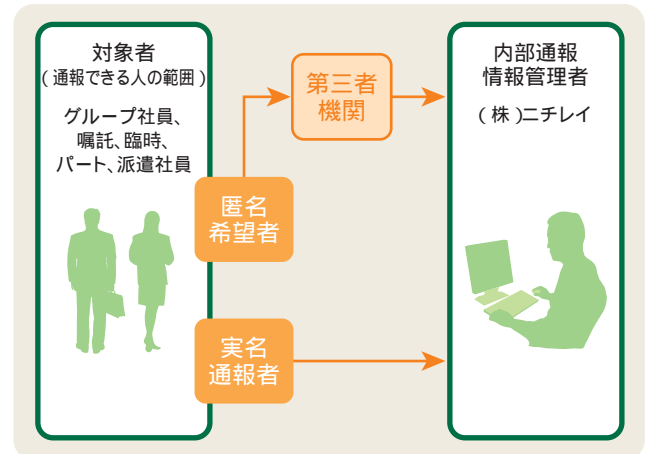
## ● 「企業倫理の浸透・定着状況」調査の実施

企業不祥事が多発し、企業倫理や法令遵守を問う社会の目はますます厳しくなっています。こうしたなか、(株)ニチレイは2003年11月に(株)ニチレイ社員1,700名を対象に、第1回「企業倫理の浸透・定着状況」調査を実施しました。この調査は、今後も定期的に行い、健全な企業活動を行うための体制づくりに役立てていきます。

## ● 「内部通報制度」の発足

コンプライアンスマインドの確立や、働きやすく、風通しのよい職場環境づくり、そしてリスク情報の収集機能を強化するために、2003年10月1日に内部通報制度を発足しました。これは、違法行為や社内規定などに違反する行為、企業倫理上問題のある行為、またセクシャル・ハラスメントなどに関する通報ができる制度です。通報を受け付ける内部通報情報管理者は、(株)ニチレイの社員ですが、情報提供者の匿名性を確保するために、第三者機関を活用しているのが特徴です。ニチレイグループは今後もさらに透明な経営の徹底を図っていきます。

内部通報制度の仕組み



# 従業員との関係

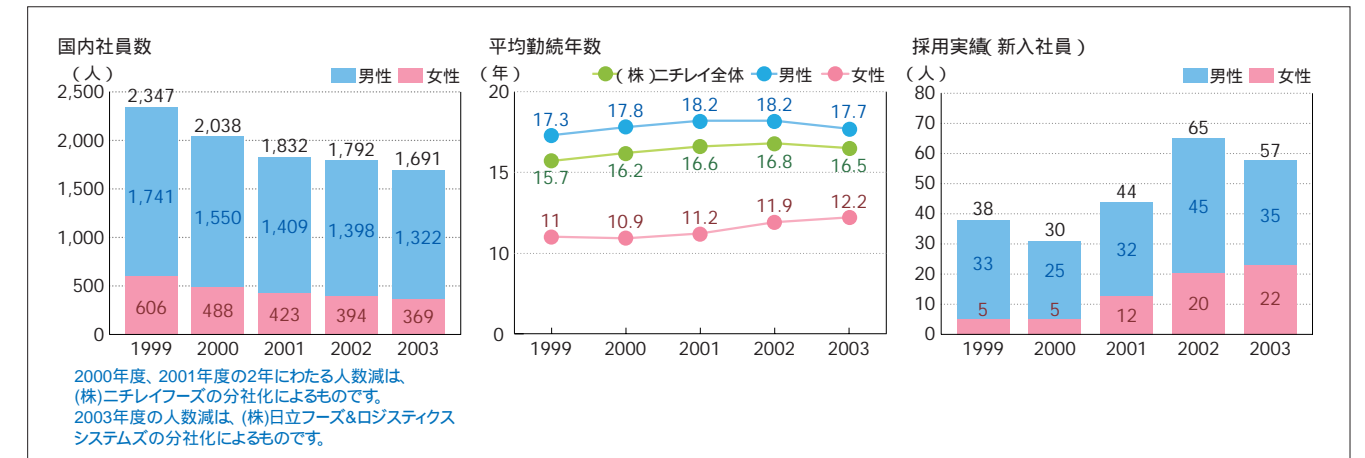
ニチレイグループは、年齢、性別、学歴といった個人の属性にとらわれず、適性や能力に応じて公平な採用を実施するとともに、独自の人事評価制度を整備し、快適な職場環境の提供に努めています。

## ● 雇用についての考え方

ニチレイグループにとって、従業員は大切なステークホルダーであり、企業の競争力は一人ひとりの従業員から生まれるものと考えています。そこで従業員と企業との良好な関係を

築くべく、年齢や性別、学歴などの属性にとられない均等な雇用を重視しています。

雇用データ [(株)ニチレイ単体]



## ● 女性社員の活躍支援(ポジティブアクション)

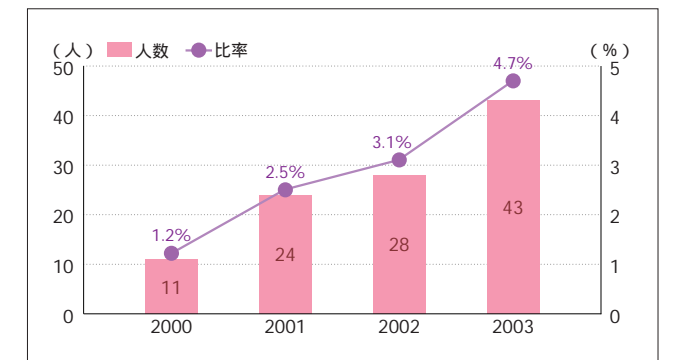
女性社員の職場に対する満足度を高める「ポジティブアクション」に積極的に取り組んでいます。その第一弾として、2000年に女性社員のみを対象とした役職登用優遇措置を3年間の時限措置として実施し、役職者に占める女性の比率は措置期間の3年間で1.2%から4.7%へ増加しました。さらに、この取り組みによって採用における女性比率の増大、女性社員の職域拡大といった効果も生まれ、現在は育児支援策や能力開発プログラムへと拡大しています。

- その他のポジティブアクション
- ・資生堂事業所内保育所「カンガルー」(2003年11月より)
  - ・育児休業者の復帰支援サイト「wiwiw(ワイワイ)」(2003年1月より)
  - ・他企業との合同研修(2003年7月より)

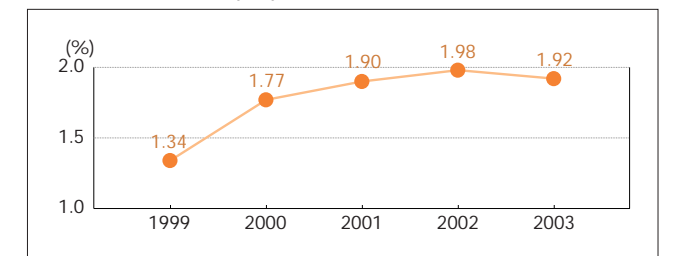
## ● 障害者雇用

就職を希望する障害者の方の雇用機会均等が求められているなか、ニチレイグループは、2004～2006年度までの3カ年で、障害者雇用率2%達成(各カンパニーの雇用率1.8%)を目標としています。また、その採用形態や就業時間の検討をはじめ、専門機関および専門家との連携、インターンシップ(トライアル採用)、ジョブコーチの活用なども視野に入れ、障害者の方々が働きやすい職場づくりを目指します。

役職者に占める女性の比率 [(株)ニチレイ単体]



障害者雇用率の推移 [(株)ニチレイ単体]



● 人財育成・キャリア開発制度

会社とは、成果を生む場所であるとともに、フェアネスを実現し個人の成長を支援する場であるとの考えのもと、「フレッシュ&フェア プログラム(FFプログラム<sup>\*</sup>)」を策定し、個人のやりがいの向上と会社の業績向上の両立を目指しています。

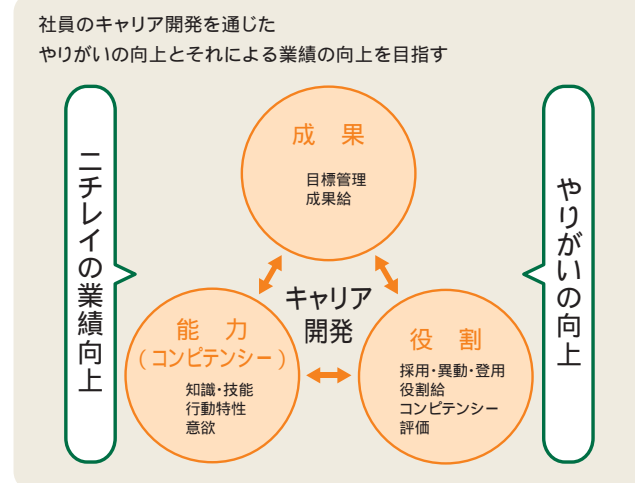
「フレッシュ&フェア プログラム(FFプログラム)」とは、賃金制度のみならず、評価制度から人財開発、人事異動までを包括するもので、明確な基準に基づく納得性と透明性を追求した総合人事制度です。

FFプログラムの主な内容

- ・役割・成果給
- ・目標の連鎖を重視したWEBによる目標管理
- ・プロチャレンジ制度(役職公募制度)
- ・シニアスタッフ制度(定年後再雇用制度)
- ・キャリアエントリー・制度(55歳進路選択制度)
- ・キャリア申告制度(人事異動自己申告制度)
- ・社内人材公募制度
- ・キャリア研修
- ・キャリアカウンセリング(EAP:Employee Assistance Program)

\*「FFプログラム」は(株)ニチレイと(株)ニチレイフーズで導入されている制度です

FFプログラムの目指す姿



● 労働安全衛生

(株)ニチレイは、労働安全衛生法で安全衛生委員会組織の設置が義務付けられている事業所だけでなく、設置義務のない事業所においても委員会組織を設置し、労働災害の防止や社員の健康管理を目的とした安全衛生管理の推進に努めています。

また、全社の安全衛生管理遂行を統括する委員会組織として、本社にカンパニープレジデントを中心とした「総括安全衛生委員会」を設置し、全国事業所別健康診断受診率、労働災害事故発生状況、自動車事故発生状況、メンタルヘルス対応事例の把握と改善策などの検討を行っています。

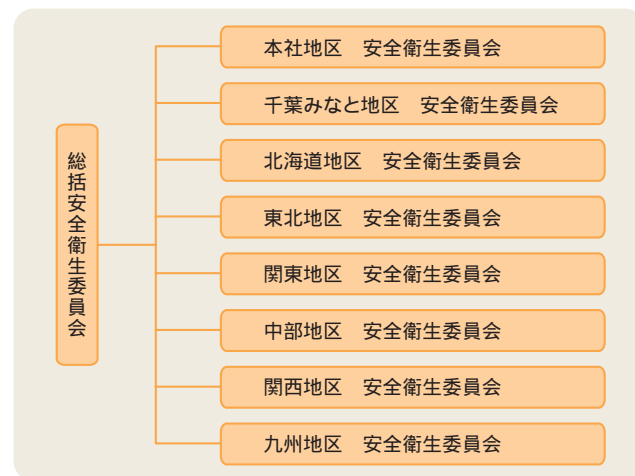
労働(業務)災害発生件数

年度	1999	2000	2001	2002	2003
件数	27	21	12	14	14

● 社員のメンタルケア

雇用環境や職業観の変化、成果主義の浸透、少子高齢化・核家族化など、社員個人が公私ともに抱える問題・ストレスが多様化するなか、その解決をサポートするための体制づくりが必要とされています。そこで(株)ニチレイは、2002年6月より、外部専門機関の(株)グッドウィル・キャリアと提携し、

安全衛生委員会組織図



EAP(Employee Assistance Program)を導入し、キャリアストレスに関する問題、育児、介護、対人関係など、公私における問題を専門カウンセラーに相談できる制度を設け、仕事に取り組む動機付けやメンタルヘルスへの対応に努めています。

地域社会との関係

ニチレイグループは、企業市民としての責任を果たし、地域や社会とともに継続的に発展していける企業グループとなることを目指して、地域行事への参加や文化活動への支援などに積極的に取り組んでいます。

● 地域行事への参加や事業所周辺の清掃活動

全国各地の事業所では、地域行事への参加や事業所周辺の清掃活動など、さまざまな活動に参加しています。

- (株)ニチレイフーズ関西工場
  - ・定期地域清掃活動の参加
  - ・地域行事の協賛(高槻市青少年チャレンジ事業・スポーツ祭り)
  - ・地区および自治会夏祭り・秋祭り
- (株)森ニチレイフーズ
  - ・町道のクリーン作戦への参加
  - ・森幼稚園夕涼み会に景品を贈呈
  - ・森町保育所運動会に会場提供および景品贈呈
  - ・森まつり(森魚協主催)への駐車スペースの提供
- (株)ニチレイフーズ山形工場
  - ・河川清掃と草刈を実施

● 研修センター施設の開放

ニチレイグループの研修センター「スコレ雪ヶ谷」(東京都大田区)を施設開放し、周辺住民の皆様の各種イベントにご利用いただいています。



70以上のお年寄りを対象とした敬老懇親会



地域スポーツ団体の剣道練習



地域の主婦を対象とした料理講習会の開催

● 学校の研修受け入れ

2003年4月に、栃木県宇都宮市から長野県諏訪郡へ拠点を移動したフラワーカンパニーの洋ラン温室を、地域の高等学校や養護学校の研修施設としてご利用いただいています。苗の移植や温室管理などの作業を実際に体験することで、植物に触れる機会を提供するとともに、交流の場として活用いただいています。

● 環境教育応援プロジェクトへの参加

地球環境の変化を1秒という時間で捉えた「1秒の世界」(ダイヤモンド社)を、全国の小・中・高等学校約40,000校に寄贈するプロジェクトに参加しました。

「1秒間に4トンの文書用紙が世界で使われている」とことや「1秒間に40万kWhの電力が世界で消費されている」という事実に触れることで、子供たちが地球環境について関心を持ってもらえることを期待しています。

また、ダイヤモンド社が募集した「児童・生徒たちが自分自身で見つけて調べたみんなで考えた1秒の世界」の優秀作品を選出する審査にも協賛企業として参加しました。



審査風景



「1秒の世界」(ダイヤモンド社)

● 寄付活動

● ニチレイふれあい基金

当基金は平成4年に設立され、従業員の賛同金と会社の寄付金を基に、社会福祉活動の支援や自然保護・環境保全・文化芸術活動への援助などを行っています。2003年度は(財)日本ユニセフ協会や(財)骨髄移植推進財団などへ寄付を行いました。

● 公益信託経団連自然保護基金への協力

(株)ニチレイでは1994年より、「公益信託経団連自然保護基金」へ毎年寄付を行っています。この基金は、地球上で最も多くの種が存在する熱帯雨林の保護や生態系の維持など、経済的にも重要な自然を保護することを目的としており、主としてアジア太平洋地域の発展途上国の自然保護プロジェクトに対する助成活動や、保護地区における住民の環境教育など、長期的視点にたった活動を行っています。(株)ニチレイでは東南アジアにおいて食材を調達していることもあり、この基金の活動に賛同し、寄付をしています。